

## 1 趣旨

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、「震災を風化させない」「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」「繋ぐ」を基本コンセプトに、県民、関係機関・団体等と連携して、阪神・淡路大震災の経験と教訓を広く発信し、次の大災害への備えや対策の充実につながる事業を展開した。

## 2 推進主体

ひょうご安全の日推進県民会議（会長：兵庫県知事、構成：136 団体・個人）

## 3 事業構成

### 1 ひょうご安全の日のつどい

震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を発信した。

【日時】令和7年1月17日（金）

【内容】・1.17のつどい（兵庫県公館とH A T神戸の2会場で開催）

- ・1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2025
- ・交流ひろば・交流ステージ
- ・防災訓練
- ・地域のつどい（1月17日前後に各県民局・県民センター単位で実施）

### 2 記念事業

震災の経験、教訓を風化させず、災害文化の醸成を目指し、県や関係機関等が、被害の抑制につながる知識、ノウハウ、技術を広く社会に伝える各種イベント等を実施した。

### 3 ひょうご安全の日推進事業（助成事業）

地域団体など県民が主体となって行う震災の経験や教訓の継承・発信や、防災・減災の取組みを支援した。

## 4 事業数

阪神・淡路大震災 30 年事業	459 事業
① ひょうご安全の日のつどい	1
② 記念事業	170
③ ひょうご安全の日推進事業（助成事業）	288
1 全県・地域事業	(85)
2 自主防災組織強化支援事業	(55)
3 実践活動事業	(148)

※ひょうご安全の日推進事業の助成を受けて実施した記念事業があるため、内訳と総数は一致しない。